

俺は堪らず呻きながら射精を開始した……。ほとぼしる精液が  
雨美の顔や髪にポタポタと降り注いでいった……



「んあ……あつ……ん……ふふふ……」

「？」

「源……お前昔から胸を触ったり舐めたりするの好きだったけど……。おっぱい大好きなんだね。ふふふ……赤ちゃんみたいで可愛いな……」

「！」

